

直接に同意を取得しない臨床研究一覧(平成28年度 承認)

承認番号	診療科	研究課題名	研究内容	研究責任者(当院)	研究期間	備考
161006	消化器外科	神経内分泌腫瘍(NEN)肝転移に対する肝切除症例に関する後ろ向き研究	NENの肝切除例は全国的にまだ多くはなく、個別の施設ではなく全国レベルのデータ蓄積が必要である。	志摩 泰生	2016年5月～ 2017年12月	
161020	血液内科	日本における骨髄腫関連疾患の予後に関する大規模多施設前向き研究	日本における骨髄腫関連疾患の予後並びに予後因子について調査する。	今井 利	2016年8月～ 2022年3月	
161029	産科	帝王切開癒痕部妊娠に関する多施設共同研究	帝王切開の頻度上昇に伴い増えている癒痕部妊娠は妊娠継続により癒着胎盤、子宮破裂など大量出血を来しやすく早期に適切な対応が必要である。	林 和俊	2016年8月～ 2019年2月	
161034	消化器外科	浸潤性膵管癌切除後の残膵再発に対する再切除の意義の検討	一般的には浸潤性膵管癌の再発病変は外科的切除の適応とはならない。残膵単独再発に対しては外科的再切除を考慮することもある。切除後の残膵再発症例に対する外科的切除が予後に寄与するかについては詳細な検討はなされていない。	志摩 泰生	2016年9月～ 2019年3月	
161037	救命救急科	マダニ咬傷におけるSFTSとリケッチア症の鑑別方法	マダニ咬傷は高知県では数多く認められている。マダニ咬傷後に、発熱、皮疹、黄疸などを認めた場合には、SFTSや日本紅斑熱を考慮し保健所に検体を提出する。	野島 剛	2016年9月～	
161054	産科	高知県における早産予防への取り組み	早産を早期発見、早期予防するためには、高知県下全妊婦に対して妊娠18週から24週に子宮頸管長測定を少なくとも2回施行する。	永井 立平	2017年1月～ 2019年12月	
161055	腫瘍内科	当院での進行再発結腸直腸癌におけるレゴラフェニブ、トリフルリジン/チピラシル塩酸塩の後方視的治療成績比較	大腸がんの後方ライン治療として位置づけられる両薬剤の、いずれを先行して用いるかによって治療成績に差異が出ているか否かを検証する。	根来 裕二	2017年2月～ 2017年7月	
161061	小児科	高知県内の小児喘息患者入院数の推移、季節性の研究	喘息による入院数は減少傾向にあると言われていたが、実際に高知県下での小児科において喘息が原因の入院が減少しているかを検討する。	濱本 諒	2017年2月～ 2021年12月	